



山口 利昭 様
山口利昭法律事務所
代表弁護士



<認定コンプライアンス・オフィサー> (抜粋)
内部統制論の基礎や、企業コンプライアンスの具体策など、資格認定試験の際に勉強したことが、現在の仕事に役立っております。
たくさんの方が合格されて、ますますコンプライアンス・オフィサー、コンプライアンス・マネージャー(現アドバイザー)としての資格がおおくの企業に認知されることを期待しております。



高橋 均 様
新日本製鐵(現 日本製鉄)株式会社
監査役事務局 マネージャー



<認定コンプライアンス・オフィサー> (抜粋)
本試験は、この種の試験が、会計面を重視した試験となりがちなのに対して、「企業経営と企業倫理」「コーポレート・ガバナンスと内部統制」「企業法務とコンプライアンスの基礎」とコンプライアンスに携わる者として必要な範囲が網羅されている。このため、コンプライアンスの体制整備に直接従事している方にとっては、知識の整理のみならず具体的実務に即したレビューとしても役立つものと思われる。また、特に組織の長の方にも、コンプライアンスに対する認識を深めるために、受験する価値がある資格試験であると確信している。



伊藤 真 様
株式会社日本政策投資銀行
監査部



<認定コンプライアンス・オフィサー> (抜粋)
コンプライアンスに関する知識を体系的に整理できたことは、現在の業務(内部監査)にも役立っています。



松村 善之 様
株式会社農協観光
コンプライアンス室 室長



<認定コンプライアンス・オフィサー> (抜粋)
習得した知識と勉強した経験は「コンプライアンス経営のロードマップの策定と実践」、「倫理・法務研修の設計と講義」、「コンプライアンスに関する意識と実態調査ならびに分析や改善提案」など様々な啓発活動に際する自信と業務上の判断根拠となっています。



神谷 智彦 様
日本マイクロソフト株式会社
エンタープライズサービス部門



<認定コンプライアンス・オフィサー> (抜粋)
試験勉強を通じ、これまで実務ベースで整理されていなかった知識が整理されたこと、近接分野で馴染みがなかった分野に触れられたこと、知っているつもりになっていた事柄を正確に理解するきっかけになったことが主なメリットであったと思います。
コンプライアンス推進に関するPDCAサイクルの知識やフレームワークを得られたことが学習の最大のメリットであり、今後もそうした知見を実務で活かしていきたいと考えています。



會澤 加寿夫 様
MSD株式会社
コンプライアンス部門



<認定コンプライアンス・オフィサー> (抜粋)
私にとって、この学習を通じてコンプライアンスを系統立てて理解できたことが最大の収穫でした。この資格を取るための学習は大変有意義でしたので、是非他の方にも薦めたいと思います。



藤猪 正敏 様
 パナソニックエレクトロニックデバイス
 （現 パナソニック）株式会社
 副社長兼総括リスクオフィサー付
 リスク・マネジメント総括担当



<認定コンプライアンス・オフィサー> （抜粋）
 OGD の試験は、コンプライアンスの対象範囲を幅広く捉えていますが、これは事業経営の実態を正しく踏まえた結果だと思われます。当機構のような発想に基づく試験制度の定着・拡大、それを通しての実践的・実地的な認定コンプライアンス・オフィサー、同アドバイザーの誕生と、両者間の適宜の情報共有の場の設定その他施策を連打していくことが不可欠な時代になっていると考えています。



上田 敏裕 様
 旭硝子（現 AGC）株式会社
 監査室 統括主幹



<認定コンプライアンス・オフィサー> （抜粋）
 コンプライアンス・オフィサー資格制度は、法律知識のみならず内部統制のコンセプトや手法の理解につながるものであり、コンプライアンス担当、法務パーソンにとって有用であると思います。



落合 仁志 様
 東京海上日動火災保険株式会社 福島支店
 業務グループ・コンプライアンスリーダー



<認定コンプライアンス・オフィサー> （抜粋）
 自分の会社の中の考え方を改めて客観的に見直す意味で本資格の取得のための学習は意味がありました。CCO 取得メンバーが職場のコンプライアンスに関するオピニオンリーダーとなって、会社、社会を引っ張っていくことができるようになれば素晴らしいと思っています。



山口 真二郎 様
山口特許事務所（東京都中央区八丁堀）
コンサルタント部 弁理士



<認定コンプライアンス・オフィサー> （抜粋）
企業倫理の背景を知ることによって、企業倫理に係るお客様からの相談への回答に説得力が増したと感じている。
また、具体的事例を踏まえた学習を積んだことで、当初想定していた知識の補強・更新という効果とは別に、コンプライアンスの経営判断に対するバランス感覚とでもいうべき「センス」が身に付いたことを実感している。



近藤 豊 様
みずほ銀行
勝田台支店 お客様サービス課



<認定コンプライアンス・オフィサー> （抜粋）
学習を進めるにつれて、自社のコンプライアンス・ポリシーやコンプライアンス・マニュアル等の基本方針について理解が深まり、法令遵守とお客様へのCS（customer satisfaction）の意識がより高まったと思います。
より多くの方が本試験を通じて、コンプライアンスについての理解を深められると共に、日常の業務に役立てて頂ければと思います。



宇野 福太郎 様
株式会社ジュピターテレコム
関西本部 管理統括部



<認定コンプライアンス・アドバイザー> （抜粋）
しっかり学習計画を立てて取り組めば、合格（資格取得）できます。学習するだけでもとても有意義な資格ですが、ぜひ頑張って合格を掴み取って下さい！



中谷 幸裕 様
三井倉庫株式会社
リスク管理部長



<認定コンプライアンス・オフィサー> (抜粋)

単に資格を取るという小さな目標ではなく、何かを学ぶ、考える、知識を整理するための機会と見ることをお勧めします。より大事なことは、日頃何気なく使われる「ガバナンス」、「コンプライアンス」あるいは「リスク管理」等々の言葉の意味合いを、この機会に自分なりに具体的なイメージで捉える行為です。



秋田 勝之 様
東京電力株式会社
事業開発部 総括・支援グループ法務担当



<認定コンプライアンス・オフィサー> (抜粋)

受験をした意義は、企業倫理・コンプライアンス、CSR、コーポレート・ガバナンス、内部統制、リスク・マネジメントなど、範囲が広く抽象的な概念を、具体的に理解できたことでした。法務関連部門にいる者として、抽象的な概念をいかに分かり易く具体的に説明し、理解して頂くかということが非常に重要であるということ、私自身がこの試験を通じて具体的に理解できてよかったと思っております。



細野 浩一郎 様
日本銀行
政策委員会室 企画役
(受験時：日本銀行発券局 企画役)



<認定コンプライアンス・オフィサー> (抜粋)

択一問題は、基本的な知識を踏まえて考えさせる良質の問題が多いと感じました。記述問題はコンプライアンス全般に関して、基本的な知識の応用力を問うもののように感じました。



菱沼 信好 様
株式会社ジョイフル本田
コンプライアンス室・法務室 室長



<認定コンプライアンス・オフィサー> (抜粋)
資格取得を通じて、形式的な判断(契約書のチェックなど)ではなく、ものごとの意義や目的の大切さを学びました。社内の研修講師をはじめ、各部室から寄せられる相談ごとに対し、意義や目的を理解させるとともに、会社の企業理念に照らしどう対応すべきか、というアドバイスができるようになりました。



松本 秀三郎 様
ノバルティスファーマ株式会社
常勤監査役



<認定コンプライアンス・オフィサー> (抜粋)
経営者、コンプライアンス・オフィサー、内部監査部門、監査役のそれぞれがコンプライアンスの認識を共有しコンプライアンス体制の確立を面として推進していくことが求められていると思います。内部監査部門、監査役の皆さんもコンプライアンス・オフィサー試験の受験を通してコンプライアンスへの理解を深めましょう。



杉本 康幸 様
住友信託(現三井住友信託)銀行株式会社
監査役室長



<認定コンプライアンス・オフィサー> (抜粋)
試験問題は、単なる法令の知識を問うものではなく、コンプライアンス・内部監査・監査役監査等、内部統制全般に亘る幅広い知識や問題解決能力を問うものであり良問だったと感じています。本試験を受験することにより、知識の再整理と自分の課題の認識ができたことは有意義であったと思います。



矢口 誠 様
朝日工業株式会社
取締役海外事業戦略部長



<認定コンプライアンス・オフィサー> (抜粋)

受験勉強をとおして、特に企業法務の面では、自分の知らなかった新しい知識も習得できました。直接ビジネスに関する法律は、独禁法、労働法、消費者関連法といった特別法が多いようです。短時間の学習ながら、これらに関する知識やその習得方法を身につけられたことは、職業生活とその後の市民生活にも役立つように感じています。



松田 由紀子 様
小林製薬株式会社 グループ統括本社
コーポレートブランド推進室 課長



<認定コンプライアンス・オフィサー> (抜粋)

勉強を通じて、これまでと別の次元・思考回路でコンプライアンスを考えることができる貴重な機会となりました。私自身は、資格を得たことに満足せず今後もコンプライアンスという当たり前の事を当たり前に進めていくことに、日々努力していきたいと思っています。



高橋 俊光 様
三井住友海上火災保険株式会社
徳山保険金お支払センター 課長



<認定コンプライアンス・オフィサー> (抜粋)

学習した内容は、不祥事件調査の統括業務において、判断が必要となったときに学習した内容がそのまま役立ち、現在の保険金支払業務、すなわちフロント業務においては、「誰も不祥事件をおこしたくて不祥事を発生させているのではない」ため、いかに内部統制活動が重要であるか、さらに社員間のコミュニケーションと防止活動のしくみづくりが大事であるか業務を通して理解することも出来た。



寺中 良幸 様
楽天投信投資顧問株式会社
コンプライアンス部長



<認定コンプライアンス・オフィサー> (抜粋)
内部統制は各業務部門で統制が機能することが求められるプロセス
ですから、私どものような比較的フロントサイドに近い立場からのリ
スクアプローチや、理解を深めることは肝要であり、今後は認定資格
のプレステージはますます高まってくると確信しております。



岩倉 秀雄 様
日本ミルクコミュニティ(現雪印メグミルク)
株式会社 コンプライアンス部部長



<認定コンプライアンス・オフィサー> (抜粋)
今後は、有資格者がふさわしい実績を積み重ね資格の権威が高まるこ
とを期待しますとともに、私自身も資格に恥じないように努力しなけ
ればならないと思っています。



依田 利弘 様
JA佐久浅間(佐久浅間農業協同組合)
管理部リスク統括課課長



<認定コンプライアンス・オフィサー> (抜粋)
苦勞して勉強した「企業法務・コンプライアンスの基礎」のお陰で、
各部署からの法律関係の問い合わせ、組合員・利用者の皆さんの苦情
にも自信を持って対応できるようになりました。
今後は、多くのJAグループの皆さんが受験され認定コンプライアン
ス・オフィサーの仲間が増えることを祈念しています。



大坪 啓史郎 様
三菱ケミカルハイテクニカ株式会社
(三菱ケミカル(株)在籍)
内部統制・企画部門



<認定コンプライアンス・オフィサー> (抜粋)
コンプライアンスを体系的に学べる資格が無いが模索している中、OCODの通信教育を知り、まずは「コンプライアンス基礎コース」を受講し、CGA資格を取得しました。この通信教育を通じ、上位資格のCCOへの基礎知識を習得することが出来ました。「基礎コース」は社内の部門を問わず、どの職種の方にとってもコンプライアンスの全体像の把握に大変役に立つ通信教育であると思います。また、OCODの基本テキストは、各分野のポイントが凝縮されており、国家・公的・民間・関係団体と沢山の資格が世の中に有るものの、資格取得後も実務に生かすことが出来ると思われる内容が含まれており、今でも私自身判断に迷った際の有効なツールとして役立っております。皆様もその後の実務にも役立つことを意識しチャレンジしてみてください。今後、業界の同志が益々増えることを祈念しております。



匿名希望 様
大手損害保険会社
コンプライアンス担当部門



<認定コンプライアンス・オフィサー> (抜粋)
学習を通して自分の中に軸ができて、この業務の大切さや背景を意識しながら改良を加えることができるようになりました。問題集を通して教科書の内容を理解する方式を取ることに加え、ネット検索により言葉の意味や事例等も学習しながら教科書の内容を理解しました。また、最初は半信半疑で参加した事前講習ですが全て参加して本当に良かったです。問題集には記載のない設問を詳細な解説記載に加え、生解説も聞けることから、理解不足にも気付いて教科書の内容を深く理解するのに大変役立ちました。事前講習の参加を迷われていらっしゃる方には、ぜひ講習受講をお勧めします。



西村 嘉之 様
西村社労士・行政書士事務所 代表
特定社会保険労務士、行政書士



<認定コンプライアンス・オフィサー> (抜粋)

ある経営者の方からコンプライアンスの推進に関する相談があったことがきっかけとなり、インターネットで検索し、この資格を知りました。業種や規模に関係なく応用できる理論を体系的に学習できることに魅力を感じ、受験を申し込みました。会社員時代に、法務、内部監査、人権・コンプライアンス推進部門等で実務を経験していましたが、改めてそれぞれの位置づけや役割を確認することもできました。この資格が社会で幅広く認知され、取得を目指す人が増えていくことを期待しています。